

語らいの『泉』

創刊第31号

令和元年

5月10日 発行

発行 泉町自治会

編集 広報係り

泉町住民構成

総人口 1249人

男性 590人

女性 659人

世帯数 489世帯

高齢化率 24.66%

新時代 「令和」

スタートにあたり

泉町自治会長

堀井隆彦



平成三十一年度は、**新元号「令和」**が発表され五月一日から「令和元年度」としてスタートを切りました。

振り返れば**平成**という時代は、便利さの追及を突き詰めていく時代であった反面、**災害**が数多く発生しています。

平成七年に始まった「**世相を表す漢字**」の変遷を見ると、**阪神淡路大震災**が起きた「**震**」に始まり、平成三十年の「**災**」。平成二十三年には「**絆**」で表されたように、人間関係が薄れ、「**隣は何をする**

人ぞ」**「自分さえ良ければ」という傾向が強くなりました。**このころが**今の詐欺事件、児童虐待、家族崩壊等、痛ましい事件事故に繋がっている**のではないのでしょうか。さて、**多世代交流・高齢者の居場所作り事業「ふらっと」**は、二年が経過し、**初年六クラブが随時開催を含めると倍以上の十五クラブに増え、年間利用者も二千人から三千人に増え、関係各位奮迅の努力の賜物と感謝いたしております。**

「**自助**」、「**共助**」、「**公助**」に加え「**近所**」、その礎となるよう益々のご利用をお願い致します。
今年も**螢の淡い光が街を照らしてくれ**ます。令和元年が、心安らぐ年となるよう、**役員の皆さまにはご苦労をおかけいたしますが、一丸となって持続可能な地域作りにご協力をお願いいたします。**
す。真の街づくりは、**日頃の積み重ね以外近道はありません。**



年度初めの 各事業部からの御案内

まちづくり部 部長 宮川義宏

- ・ **市民活動**では、青少年育成や地域活動。
- ・ **社会同和**では、人権学習会。
- ・ **青少年（子ども会）**では、天満宮の祭礼、左義長をはじめ子ども会事業。
- ・ **地域安全、子ども安全、補導**では、交通安全エコー運動や街頭啓発の実施。
- ・ **高齢者はばたき**では、グラウンドゴルフ大会・節分の多賀大社参拝等、それぞれのグループで活動していただいています。

まちづくり部全体の事業としては、**河川公園のプランターや泉町交差点の花壇への花植え、町民全員の参加のほたる祭りや町民交流会の開催、ボウリング大会、の事業を実施しております。**

子どもから高齢者まで、たくさんの方々が、参加できる事業を計画しておりますので、御案内の際は、ぜひ御参加をお願い申し上げます。

今後とも、まちづくり部の事業にご理解ご協力をお願い致します。

地域環境部 部長 森田 悟

津川公園の全戸清掃と組長さん主体の毎月清掃活動、泉町自治会が推奨する門前政策（家の前の掃き清め運動）の啓発、ゴミの出し方指導、健康推進委員さんによる「いきいき百歳体操」（毎週月・金ふるさと会館にて開催）や食育推進等の事業があります。

組長さんには、一年間に何度も津川河川公園に足をお運びいただき、ご協力になります。何卒ご理解・ご協力のほど重ねてお願いいたします。

ふれあい活動部部长 間宮京子

ふれあい活動部では、例年通りの事業計画を立てております。その主な物だけをご紹介します。まず、七〇歳以上の方を対象に、「四月には市の福祉バスをお借りし「お出かけサロン」を開催いたし

ました。また、泉町主宰の「ほたる祭り」に出店・六月に「あじさいサロン」開催予定・九月には「敬老会」企画運営・十月には六十五歳以上の単身者の方対象に「友愛訪問」・十一月には「ちよこつとお出かけサロン」・十二月には恒例の「クリスマスサロン」開催・年明け二月に「おひなまつりサロン」を開催する予定です。

組長様には、案内状などの配布や回覧などで大変お世話になりましたが、何卒よろしくお願いたします。

消防防災部部长 瀬古勝之

平素は泉町の消防・防災活動につきましてご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

消防防災部では本年度も主に組長様により編成される「自衛消防隊」を中心とする消火訓練、また組別に住民の方を対象にした小規模な訓練を順次実施していきたいと考えております。

自助（自分で自分の身を守る）、共助（地域で助け合える）の意識、技術を高め、公助（行政による支援）と協調して、防災に強い泉町を一緒に作っていきましょう。

（その他事業紹介、年末夜警、出初式、自主防災教室参加、機器点

検、各事業の警備など）

*天満宮・志納金（しのうきん）について

泉町自治会の皆様には毎年五月五日に執り行われる天満宮の神輿の巡行につき、ご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、天満宮の祭礼・神輿巡行に関する費用（子供達へのアイス代なども含める）は、自治会単位で、まかなわれており、この日に町民の皆様から頂戴する、「志納金」（寄付金）が主とした財源となっております。この「志納金」が金額及び件数ともに年々少なくなっており、このまま減少を続けると、将来、お神輿の巡行に支障が生じること考えられます。

「神輿の巡行」は宗教行事の側面もありますが、先祖代々が伝統的に引き継いできた日本の良き文化でもあります。どうか町民の皆様、この日本の良き文化を絶えさせることのなきよう、来年以降も志納金にご協力をおねがい致します。

集め方は組によって様々ですが、事前に頂く場合もございますし、当日神輿の最後付近におられる、志納金担当の方にお渡し頂いても結構です。志納金を頂いた方には、心ばかりの神様からのお下りの品「撒饌（てっせん）」をお渡しいたしております。

（宮世話担当者より）

ふれあい部よりご報告

「おひなまつりサロン」

開催

二月二十四日(日)に「おひなまつりサロン」を開催いたしました。

「守山江州音頭保存会」に所属されている大塚了氏の浪曲風座敷音頭を新鮮で楽しく聞かせていただきました。最後に泉町の事柄を取り入れながらの江州音頭。素晴らしい声に、皆さん感心しておられました。

昼食は、ちらし寿司と手作りおでんを召し上がっていただきました。

昼食の後は、簡単な体操とボールを使ったゲーム。少し身体を動かした後のタイムは、白玉ぜんざいとお茶で。

皆様、笑顔でお帰り下さいました。



高齢者の居場所「ふらっと」

大林真佐子

皆さん、「ふらっと」をご利用いただきありがとうございます。自治会長の鋭意ご努力を頂いて国の補助金を頂き「ふらっと」が竣工して早二年になります。高齢者の居場所として町内外の方に楽しんで来ていただくにはどうすればよいのかと、試行錯誤の日々でしたが、それぞれ各人のご趣味のクラブを作っていた楽しみました。クラブを作った方が楽しく使われることができます。現在は十人以上のクラブで仲間作りが盛大になったので、お友達同士での掛け声で、こんなにも賑わうんだと、心貧しい世の中で嬉しい極みであります。

去る三月には、中仙道事業に参加させて頂き皆さんの協力で、たくさんさんのひな壇を飾ることが出来ました。町内外は勿論、県外の方にもご来場いただき大変賑わいました。ただ今、五月人形(武者人形)もたくさん飾っております。是非ご覧くださいませ。

いろんな事業に、老若男女年齢制限なく誰もが気軽に集える楽しい居場所作りを国や守山市の方針に則り精進したいと思っております。



おります。
 また、毎月一日と十七日を定
 期開放日にしています。十七
 日はバスデイカフェとして、七
 楽しいイベントを企画して開催
 しております。こども食堂も
 「ふらっと」で実施しています。
 子ども達だけでなくまたは親子で参
 加して風船アートはじめ様々な
 遊びを楽しんだ後、手作りのお
 食事を召し上がっていただいで
 います。
 みなさんとともにある「ふらつ
 と」です。ご意見があればお聞
 かせください。



***三津川公園便り**
 自治会長代理 中野基司
 新元号が発表されました。
 「令和」と言うなんとなく明
 るく春めいた好感を受けまし
 た。公園内の今を現す気がし
 ます。梅は終わりましたが、
 黄色のサンシュユ、白のモク
 レン・雪柳・桜も満開です。
 (四月九日現在)
 桜と云えば公園トイレ横の
 倒れかけた老木(桜木)が満
 開を迎えた大変人気です。昨
 末に通るかかりの老夫婦が、
 「この桜木、なんとなく竜に
 似ているね！」と云われまし

編集後記 新年号「令和」の第一回目の発行です。
 天満宮さんのお祭り前に皆さんにお渡しするはず
 だったのですが、編集者の不手際で五月になって
 しまいました。日差しが強くなってきました。こ
 れからの季節は熱中症にご注意ください。(K U)

か、皆さんのおうちの「門掃
 き」ででたゴミ、空き缶・夕
 バコの吸い殻な
 どを川や植え込
 み、歩道に捨て
 ない様に、公園
 美化にご協力よ
 ろしくお願い
 いたします。



た。そこで遊び心で顔の部分
 に目を付けてみました所、生
 き生きとした竜が背中に松・
 竹・梅を背負う「竜」に変身
 致しまして徐々に人気を集め
 ております。
 遊歩道の方は常緑樹の葉の
 入れ替え時期
 で落ち葉多く
 清掃が大変で
 す。三津川も
 春先は水量が
 少なくゴミや
 川藻が気にな
 ります。どう